2022年1月25日（毎月3回5・15・25日発行）兵庫保険医新聞（昭和43年6月12日第三種郵便物認可）号外　年間購読料12,000円

# 兵庫県保険医協会
# 姫路・西播支部ニュース

Ｎｏ.277　2022年1月25日

発　行　兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博
連絡先　〒650-0024　神戸市中央区海岸通1-2-31　神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1840　FAX/078-393-1802

新年のごあいさつ

## 誰もが安心して生活できる年に

姫路・西播支部長　正木 茂博

昨年も新型コロナ、コロナで明け暮れた年でした。今年もどうなることか心配です。また、森友問題や公文書改ざんの何とも言いようがない決着、もやもやした年でした。東京地検はなぜ、巨悪を検挙できなかったか、いったいどうなったのでしょうか？　気分が晴れません。

今年は診療報酬の改定の年です。本体は少し上がり薬価は少し下がるようです。しかし、毎回のように、実際には一般の医療機関は減額になると思います。大きな問題は、リフィル処方箋の導入が決まったことです。これが本格的に導入されたら、多くの医療機関はかなりの収入減になるでしょう。診察ごとに処方箋を発行するのが道理です。到底認める訳にはいきません。

医療・介識は誰もが認める安心に生活出来るためのインフラです。全世代型社会保障の名のもと高齢者の負担を２割に増やす事が決まりました。本来なら高齢者の負担を１割のままにして、働く世代の負担も１割にすれば、誰もが納得すると思います。

岸田政権は成長によって分配を増やすと言っています。本当にそうでしょうか?アベノミクスによってトリクルダウンがあったでしょうか？無かったと思います。格差が拡大しただけだと皆が思っています。

もちろん少子化が当面続くと思いますのでITを駆使し、あらゆる分野でDX等を行い生産性をあげ成長していく必要性は誰もが認めることです。しかし、それと同時に分配もしていかなければなりません。色んな案があると思います。

例えば、利益を大幅に出した企業の法人税を上げる、大企業の内部留保に対しての課税、金融所得に対しての課税等々です。そして「アベノマスク」のような、会計検査院が指摘するほどの財政の無駄をなくすことです。もちろん目的のはっきりとした有意義な国

（次ページにつづく）

（前ページのつづき）

債の発行は必要です。これらの財源を利用して、大学までの学費の無料化、高校までの医療費の無料化、母子家庭等への援助などを行い、生まれた自治体によって生じる格差をなくすようにすることが大切です。また、子育て世代の所得税をさげる等々、知恵を出せば分配を増やす方法はいくらでもあると思います。これらがもし実行されたら消費が上がり、経済がうまく回転すると思いますが、いかがでしょうか?

小手先だけの、つぎはぎだけの政策ではこの国は今後先細りするだけです。今年が会員の皆さまにとって良い年になることを祈っております。保険医協会を今年もよろしくお願い致します。

## 【会員限定】　*参加できなかった研究会をDVDで*

# 診療内容向上研究会ほか講演録DVD

協会研究部主催の診療内容向上研究会（診内研）、特別研究会、臨床医学講座や、薬科部主催の薬科部研究会などの講演DVD（下記）を作成しています。頒布価格はいずれも1枚1,000円（送料込）です。**会員の先生方個人の視聴用のみにご利用ください。**

**ご注文は、℡：078-393-1840　研究部まで**

**※以前のDVDにつきましてもお問い合わせください。**

| 年 | 日　程 | 種　別 | テ　ー　マ | 講　　師 |
|---|---|---|---|---|
| 2021年 | 6月3日 | 第40回在宅医療研究会 | ＡＣＰ（アドバンス ケア プランニング）<br>～基本的な考え方と地域緩和ケアにおける「人生会議」～ | 灘区・ホームホスピス 関本クリニック 院長<br>関本 剛 先生 |
| | 6月12日 | 第574回診内研 | 誤嚥性肺炎を深く正しく診る | 札幌医科大学　総合診療医学講座<br>佐藤 健太 先生 |
| | 6月26日 | 薬科部研究会 | 緊急避妊薬の処方と<br>よくある質問への回答 | 淀川キリスト教病院 産婦人科 医長<br>柴田 綾子　先生 |
| | 6月20日 | 第53回総会 | 感染症と文明　～コロナ禍で問われる医療と社会～ | 長崎大学 熱帯医学研究所 環境医学部門<br>国際保健学分野　教授　山本　太郎　先生 |
| | 7月10日 | 第575回診内研 | 心電図スキルアップセミナー<br>見逃してはいけない心電図 | 高知大学　老年病・循環器内科学　准教授<br>山崎　直仁 先生 |
| | 7月17日 | 薬科部研究会 | 糖尿病の薬物療法最前線 | 医療法人社団慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問、<br>糖尿病センター長<br>東邦大学名誉教授　芳野 原　先生 |
| | 8月7日 | 第576回診内研 | まるわかり！自己炎症性疾患 | 兵庫医科大学皮膚科　主任教授<br>金澤　伸雄 先生 |
| | 10月9日 | 第578診内研 | 女性の不定愁訴を見分ける３つの問診<br>～月経前症候群、更年期障害、産後うつ病を見逃さない～ | 淀川キリスト教病院　産婦人科　医長<br>柴田 綾子 先生 |
| | 10月23日 | 薬科部研究会 | 気血水(津液)について | 東大阪市・小阪医院 院長　曺 桂植 先生 |

2022 年 1 月 25 日（毎月 3 回 5・15・25 日発行）兵庫保険医新聞（昭和 43 年 6 月 12 日第三種郵便物認可）号外　年間購読料 12,000 円

**兵庫県保険医協会　姫路・西播支部　政策研究会**

# 医療費抑制政策の転換を

日　時　2 月 1 9 日(土)15 時～16 時 30 分

会　場　じばさんびる 601 会議室（Zoom 併用）

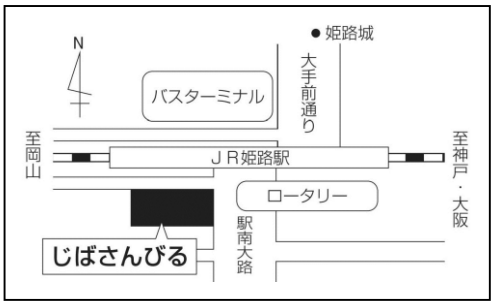
講　師　兵庫県保険医協会　副理事長

　　川西　敏雄先生

主　催　兵庫県保険医協会　姫路・西播支部

来場定員　５０人(申込順)

参加無料




新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「医師・看護師不足」「病床不足」「物品不足」がクローズアップされ、特に第 4 波、5 波では病床逼迫により、国民は「医療崩壊」を目の当たりにしました。

一方で、医療機関の経営状況は一気に悪化し、持続的、安定的な医療提供体制が失われ、平時の体制への回復は望み薄です。

この最大の要因は、長く続く厳しい「医療費抑制政策」により、医療提供体制が疲弊、脆弱化したためであり、平時より余力の少ない病床数、医師数、診療報酬、保健所体制などの問題点が、コロナという「大災害」によって一気に露呈したと言えます。また、「三位一体改革」と称して「地域医療構想」「医師の働き方改革」「医師の偏在対策」が、医療費抑制政策の一環として、今も続けられています。

コロナ禍において、あるべき社会保障と医療について共に考えたいと思います。

お問い合わせは、兵庫県保険医協会　TEL/078-393-1840（担当：山川）　まで

## 【Zoom視聴の申し込み】

右の URL または QR コードから
お申し込みください。案内メール
が送付されます。

https://bit.ly/3yNR8DA

## 【来場参加の申し込み】FAX 078-393-1820

この用紙のまま、下記をご記入の上、FAX してください。

| 参加者氏名 | 職業など | 市町 | 連絡先（Tel、Mail など） |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

2022年1月25日（毎月3回5・15・25日発行）兵庫保険医新聞（昭和43年6月12日第三種郵便物認可）号外　年間購読料12,000円

全医療機関が対象です　新型コロナ感染拡大防止継続支援補助金

# 申請締め切りは１月末です

申請を
お忘れなく！

すべての医療機関に対し、診療所８万円、病院・有床診療所10万円の感染拡大防止対策費を補助する補助金の申請締め切りが月末に迫っています。下記をご確認の上、お忘れないように申請ください。

「令和３年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止継続支援補助金」

１．**対象機関と上限額**　①無床診療所（医科・歯科）　８万円
②病院・有床診療所（医科・歯科）10万円
③薬局・訪問看護事業者・助産所　６万円

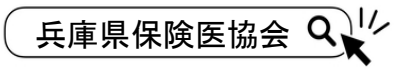
２．**対象経費**　2021年10月1日～12月31日までの、新型コロナウイルス感染症に対応した感染拡大防止対策に要した費用　**※感染拡大防止対策のための費用であることが求められています**

３．**申請手続**　締め切り　2022年1月31日（月）
方　法　インターネットを利用し、厚労省ウェブサイトの特設申請ページから電子申請します。
アクセス方法は下記をご覧ください。インターネットでの電子申請が困難な方は、紙の申請用紙を送付いたしますので、協会事務局℡078-393-1807までご連絡ください。
※領収書等の提出は不要ですが、医療機関で交付決定から５年間保管してください。

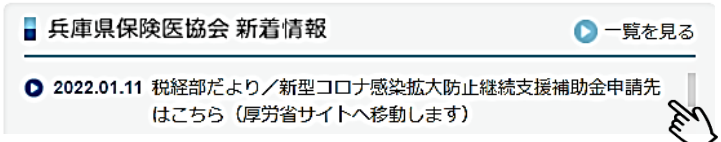
## ○厚労省ウェブサイトへのアクセス方法　下記の１・２いずれかの方法でアクセスできます

１．兵庫県保険医協会ウェブサイトから

①兵庫県保険医協会で検索




②「HOME 兵庫県保険医協会」をクリックし、ページ右下「新着情報」の「2022.1.11 税経部だより／新型コロナ感染拡大防止継続支援補助金申請先はこちら」をクリック

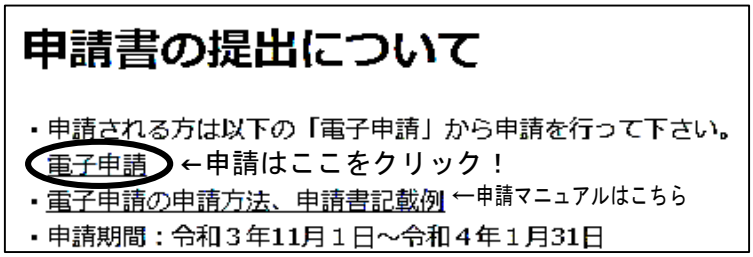



２．QRコード・URLから

下記QRコードまたはURLからアクセスしてください

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21485.html

厚労省ウェブサイトの「申請書の提出について」３行目にある「電子申請の申請方法、申請書記載例」をクリックすると、詳しい申請マニュアルが出てきます。こちらをご覧になりながら２行目の「電子申請」をクリックし、登録・申請を行ってください。




※メールアドレスの登録が必要です。
※申請の入力作業途中での保存はできませんのでご注意ください。
※申請が完了しましたら、「感染拡大継続支援事業」の表示名から受付確認メールが届きますので、必ずご確認ください。

上記は概要です。詳細は厚労省ウェブサイトをご確認ください。問い合わせ窓口は厚生労働省医療提供体制支援補助金コールセンター（℡:0120-336-933（平日午前9時30分から午後6時まで））